

地域課題解消に向けて(鹿島台小学校通学路巡視より)

子どもたちが朝夕の登下校時に通行する通学路の安全対策の一環として、毎年6月にPTAが主体となり、学校・行政・警察・地域自治会関連の方々と巡視を行っています。学校通学路には、道幅が狭く車の往来が激しい箇所もあり、見通しが良くない曲がり角や、歩道やスクーターの白線が消えかかっているところ、また民地から飛び出ている木の枝がカーブミラーの死角をもたらしているところ等々、多くの課題が残されています。カーブミラーや白線については、警察や行政と調整すれば解決へ向けて前へ進む場合もあります。課題箇所が民地の場合、なかなか一朝一夕に解決できるものではありません。

今回紹介する例は改良前の写真のように建物駐車場入り口のグレーチングが、側溝の欠損により外れてしまう問題がある箇所です。この箇所は、道幅が狭く車とすれ違う時に大変危険との事でPTAから連絡が入りました。この件については、自分と行政が連携し、所有者さんと調整し、改良後の写真のように課題を解決することが出来ました。

これからも皆様の地域の課題解決に取り組んでまいります。何かお気づきの問題がありましたらお気軽にご連絡下さい。



←改良前



→改良後

議会外活動

昨年4月、熊本県熊本地方を震央とする大地震が発生しました。この地震は、熊本県内や周辺の自治体に大きな被害をもたらした、多くの被災者が出た事は記憶に新しいと思います。何時何処で起こってもおかしくない大地震、いざという時のため、熊本県庁の担当者を訪ね教訓を学びに行ってきました。

熊本城の被害については、城の周りの石垣が約425億円、重要文化財建造物が約72億円、再建・復元建造物+その他公園施設が約137億円、再建するには総額約634億円との事です。

このように大地震により大きな人的・物的被害が発生します。自然の猛威を予測することは難しいですが、被害を最小限に食い止める予防対策は行うことができます。大地震で、自治体がどのように受援体制を構築すべきか、どのように連絡手段を確保すべきかなど、多くの事を学ばせていただきました。

今回学ばせていただいたことを基に相模原市の減災への取り組みを推し進めていきます。



→石垣が大きく崩れた熊本城

バーベキュー大会のお知らせ

古内明後援会主催

記

日時:平成29年11月3日(金・祝日) 12:00~

場所:水光園(左記地図を参照して下さい)

会費:大人500円、こども300円

